

よしだ 議会だより



第117号

令和7年4月発行

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
吉田町議会
責任者 議長 大石 巖

令和7年第1回定例会	2P
一般質問 5人が町政を問う	9P
常任委員会報告	14P
令和6年度議会改革目標評価結果	15P
まちの話題	16P

住吉海岸 ビーチクリーンボランティア団体「海を守ろう」

令和7年第1回吉田町議会定例会 一般会計・特別会計など 令和7年度の当初予算を可決

当初予算7件、補正予算5件、条例の制定1件、条例改正10件、規約変更1件、指定管理3件、町道廃止1件、町道認定1件、人事案件1件、議員発議2件の32件を審議し、全ての議案について原案のとおり可決・同意とした。

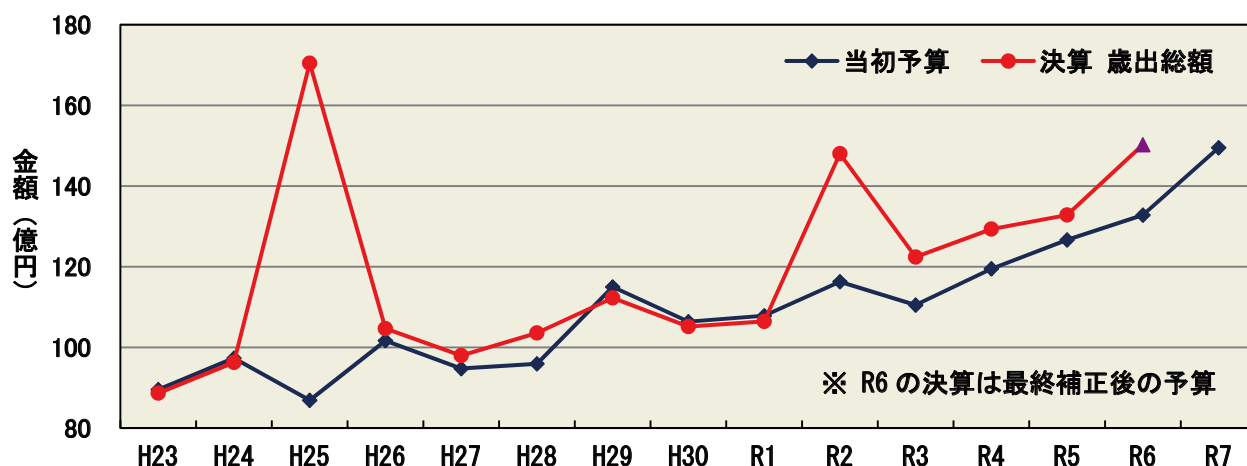


第1回定例会で質疑のあった議案

議案番号	概 要
第8号	吉田町職員の勤務時間、休暇等についての条例改正
第13号	令和6年度一般会計補正予算（第8号）
第18号	令和7年度一般会計予算
第20号	令和7年度国民健康保険事業特別会計予算
第22号	令和7年度介護保険事業特別会計予算
第23号	令和7年度水道事業会計予算
第24号	令和7年度公共下水道事業会計予算
第28号	指定管理者について
第29号	町道の路線廃止について

令和7年度一般会計歳入・歳出総額（過去最高額の当初予算）
149億4,900万円（対前年度16億6,900万円増額）

当初予算・決算（歳出）の変遷



令和7年度主な新規事業

メニュー	説明	金額(万円)
防潮堤整備の推進	住吉工区の防潮堤整備工事及び設計・用地調査業務委託を実施	17,504
学校ICT機器の更新整備	令和2年度にGIGAスクール構想として1人1台端末を導入してから5年経過するため、端末等の更新を実施	15,984
子どもの居場所づくりのための拠点整備	自彊小学校周辺に放課後児童クラブ等整備のための用地及び建物を購入	11,674
東名吉田IC周辺公共交通拠点整備	東名吉田インターチェンジ周辺の路線バス等の利便性向上に向け、バス待合所・駐輪場・送迎スペース等の整備に係る用地取得に着手	10,886
プレミアム付商品券の発行	物価高騰による生活支援のため、プレミアム付商品券を発行	5,620
公共施設等予約システムの整備	利用者の利便性を図るため、体育館などの公共施設の予約をオンライン化するための環境整備の実施	794
吉田消防署の基本構想作成	消防力を強化するため、吉田消防署の移転に向けた基本構想の作成	451
書かない窓口の推進	証明書などの申請書作成の際、マイナンバーカードや運転免許証などから名前や住所などの個人情報を読み取る機器を5台設置	232

歳入

町債(町の借金)

問 7年度予算では、町債が公債費元金分(返済分)より多い。現在町債は津波防災対策分と通常分に分けて起債している。この区別は津波避難タワーを作る際に設けたものである。しかし、今は通常の防災に関する起債も津波防災対策分に区分しているように見える。二つの区分に適用する事業の定義は、確たる定義はない。

問 今後住吉工区防潮堤の整備で町債は増えることが予想される。二つ区分で起債する制度は防潮堤完成予定の12年度で中止し、町債額を公債費元金分より少なく抑える従来の制度に戻す考えはあるか。

答 意見は理解するが、必要な事業で起債を行っている。今後起債を抑えるべく当て方についても検討する。

歳出

ふるさと納税

問 吉田町は約13億円のふるさと納税を受けている。そのために18社のふるさと納税サイトと契約しているが、その選択基準はあるか。

答 委託料はそこを通して得られたふるさと納税額の何%かを支払う契約になっており、基準はない。

問 町内の業者がふるさと納税事業に参画した場合の窓口は。

答 企画課が窓口で業者の認定を行っている。また、委託業者が受付から出荷までの業務などをサポートする契約になっている。

問 吉田うなぎのブランド復活で町のイメージアップを図れないか。

答 組合の広域化で町として復活させることは難しい。しかし、うなぎと言ったら吉田などのPRは行っている。

女性登用補助加算制度

問 導入以来10年を経過する女性登用補助加算制度の変更内容は。

答 7年度からは予算総額は120万円と変わらないうが、女性登用に加えて自治会加入率の向上、自治会活性化に関する施策の実施の3本柱で補助金を出すシステムに変更する。

子育て世帯訪問支援

問 子育て世帯訪問支援の対象者およびその対象者をどのようにして見つけるのか。

答 家事や子育てに不安や負担をかかえている子育て世帯、妊婦やヤングケアラーなどをかかえる家庭が対象で保健センターや支援センターの利用者の中で支援が必要と考える方に支援を行う。支援内容は支援員が家庭を訪問し、不安や悩みを傾聴するとともに家事や子育ての支援を行う。

自彊小学校放課後児童クラブの整備

問 自彊小学校周辺の土地、建物を購入するための予算が計上されている。しかし、改修などの予算は計上されていない。その理由は。

答 まずは購入した後に補助金が取れるようなタイミングで改修などの予算化を図ろうと考えている。今の時点では使い始めるのは8年度以降になる。

ごみ・リサイクル推進

問 本事業はモデル地区を作り、実証実験の上、町全体に広げる計画があるとのことであった。しかし、予算上見当らない。進捗状況は。

答 本年2月に北区自治会役員の方々に分別なごみの先進地、鹿児島県の大崎町を視察していただいた。今後、北区役員と吉田町として何ができるかを議論していく予定である。

地球温暖化防止補助金

問 6年度の行政評価結果には7年度には新たな補助金制度を設けると記載されている。どのような補助金制度か。

答 現在、既存住宅に太陽光発電機と蓄電池の同時設置に対して10万円の補助金を出している。7年度からはそれに加えて蓄電池のみの設置に対しても補助金を出すことを始めたいと考えているが、開始時期は未定である。



带状疱疹予防接種

問 带状疱疹予防接種が任意から定期接種に変更する。その内容は。

答 従来の任意接種では50歳以上の希望者が対象であった。定期接種の場合は主にその年度中に65歳になる方が対象となる。7年度はその上の70歳、75歳、80歳の方も対象となるが、これは5年間の経過措置である。また、任意接種の希望者についても2年間ぐらいの継続をしたいと考えている。

もう一つの変更点は、従来は町の補助金を定めていたが、自己負担額を設定する。生ワクチンは4,700円、不活化ワクチンは1万9000円を2回となる。

飼い主のいない猫の不妊・去勢等手術

問 この事業開始から10数年が経過する。補助金対象の団体の活動状況は。

答 補助対象団体数は減少し、今は1団体になったが、活発に活動してくれている。

問 手術費の高騰もあり、活動団体は手術費の安い医院を探すなど苦労されている。今後は、手術した医院へ補助を出す制度に変える考えはあるか。

答 近隣の市町の状況も参考にしながら、この事業の要綱の変更を考えていきたい。

農業振興費

問 農業振興地域整備計画の事業内容は。

答 おおむね10年後を見据え、優良農地の確保、保全、農業振興地域の各施策を集中的に実施するため、町が定める総合的な農業の振興の計画である。県の基本方針に適合すると共に、法律に基づく地域振興計画や総合的な開発計画および農業振興に関する主計画と調和を取りながら行っていくもので、5年ごとに基礎調査に基づく総合的な見直しを行う事とされている。



漁港管理費

問 水産物供給基盤機能保全事業費の設計委託料の内容は。

答 漁港機能の保全計画を更新する。平成28年度から50年間の計画期間として策定された国のガイドラインは10年ごとに見直しを図るとされている。8年度に10年目を迎えることから、7年度に詳細な点検を実施し、漁港施設の維持管理や更新および長寿命化を図り、将来に渡り効果的な維持管理方法を検討する。長期的な事業の効率化やライフサイクルコストの縮減に努める。

3大まつり委託料

問 昨年度まではまつりごとに予算化されていたが、7年度予算では一括の金額で予算化されている。予算総額は同じだが、このような予算の組み方にしたメリットは何か。

答 凧揚げまつり、花火大会、小山城まつりのすべてを観光協会に委託している。7年度もそこに変更はないが、花火大会時に多目的広場の解放を検討中で、警備費が増えることが想定される。そのため、全体の予算の中でやり繰りをして、その実現を目指している。



観光PR事業費

問 小山城のライトアップの予算に、照明器具の設置と撤去とあるが、これを常設にすれば一年を通してさまざまな場面ですべて良いのではないかと考えるが、コスト的にどうなのか。

答 ライトアップする際に、より目立つような光量で効果的に行えるようにしている。常設にした場合、維持管理費もかかるほか、経年劣化の問題も出てくるので、その都度単発で行う方が効率的であると現状考えているが、今後検討してみたい。

橋梁維持補修費

問 橋梁維持補修費の中に念仏橋の撤去費が含まれているが、数年前の質問に「撤去する」と、その後「残す」と、二転三転した経緯があるが、撤去に決まった理由と、将来的に、念仏橋の架け替えはあるのか。

答 町と河川管理者の県と協議をする中で、橋の構造や損傷具合、老朽化などの状況から、撤去との結論になった。架け替えについては、上流にも下流にも橋が存在するので、現状新たな架け替えは考えていない。

地震ブレーカー等設置推進事業補助金

問 地震ブレーカーは、ポツポツと一部の家が火災などから守られても意味がない。全体、面で守ることで効果が発揮できるので、予算を使ってでも、吉田町の安全を守るために町内全体で設置することは考えられないか。

答 この補助金は、地震による住宅の出火および延焼を居住者自らが防止し、被害の減少を図ることを目的として実施するもの。まずは7年度に実施し、その状況を踏まえ、それ以降の対応を考えて行く。

防災意識向上事業費

問 防災公園指定管理料がこの事業費の86%を占めている。防災意識向上との関連性は極めて薄いと思われる。この指定管理料は、目的に合った別の事業として予算を出すべきだと考えるがいかがか。

答 防災公園では防災啓発を行っているが、費用としては人件費などの指定管理料がほとんどとなるので、防災意識向上事業費として予算化することが適切かどうか今後検討する。

公共施設予約システム構築・運営保守業務委託

問 構築するオンライン予約システムは、使用者会議など今までの町の予約ルールを踏襲するのか、委託先の構築するルールが導入されるのか。

答 基本的には今までの方法が踏襲される形でオンライン化したい。

体育館空調の使用システムも併せて変更するののか。

答 今後業者選定の中で、空調の管理方法の提案などがあれば、検討したい。



確かな学力定着事業費

問 この事業予算の中にICT教育支援業務委託料があるが、確かな学力定着事業とどう結びつくのか。

答 ICT支援員の派遣業務の予算である。先生方がより授業に集中できる時間を確保することにより、学力向上が図れるとの意図でこの事業の予算に組み入れている。

図書館管理費

問 この度駐車場の用地購入ができたことで、駐車場の整備はどのように進められるのか。修繕料の中にそれが含まれているのか。

答 用地交渉が終了し、駐車場の舗装を行っていきたくと考えていたが、まだその予算は含まれていない。通常の修繕と図書館の高圧設備の更新費用である。未舗装の部分に関しては、維持管理をしながらトラブルがないように進めて行く。



図書館駐車場未舗装部分

予算以外の議案

指定管理

問 指定管理者3議案とも継続での指定管理者である。金額の多い神戸コミュニティ広場について、指定管理者としての審査で最も重視した項目は。

答 地元のコミュニティを図ることを重視し、過去2回の実績を含め北区自治会が適正と判断した。

町道の廃止

問 今回の町道廃止の理由は。

答 この町道の両側に土地を有する業者から町道を利用したいとの要望があり、町道としては廃止した後、その業者が使用する。

問 同土地の利用はどうなるのか。

答 隣接業者が使用することになるが、当面は従来通りの使い方になると思う。

令和6年度吉田町一般会計補正予算(第8号)

歳出歳入にそれぞれ2億2,073万円を追加し、総額152億4,406万円とする。

【主な補正】

歳入	固定資産税	4,144万円
	地方消費税交付金	4,487万円
	地方交付税(普通交付税)	1億4,365万円
	町債	△ 5,060万円
歳出	情報化推進費	△ 5,770万円
	コミュニティ助成事業費	△ 5,700万円
	心身障害者自立支援事業費	9,888万円
	財政調整基金費	1億4,883万円

コミュニティ助成事業

問 コミュニティ助成事業交付金(自治会などの備品整備を支援)が570万円の減額である。これは昨年度に応募があった4件のうち、年度初めに採用が1件と判明したためである。何故年度末の減額補正になったのか。予算の有効利用のための議論はなかったのか。

答 年度初めに多額の不用額が出る可能性は認識していたが、コミュニティ関係の講師の要請など他の助成は可能であることから、自治会からの申請が上がってきた時のために年度末まで使えるような形にしてあった。

問 自治会からの申請待ちではなく、自治会に対して積極的に働きかけて予算を有効に使うことはしないのか。

答 自治会に対しても少し周知を図っていきたいと考える。

情報化推進委託

問 同委託料5,770万円の減額はベンダーの対応が不可能になったとのことであるが、これは契約違反になるのか。また、繰り越しは考えていなかったのか。

答 国のガバナンスクラウド制度自体が諸事情により整わなかったために、ベンダーへのリソース不足が発生し、減額せざるえない状態になった。これは契約違反には当たらない。繰り越しは財源を持つて繰り越さなければならず、国の補助金で実施している事業であるため、その補助金を翌年度に繰り越すことができないために減額した。

この事業についての国の補助金7年度も出ることが分かったので、来年度継続して業務を進める。

通学路への防犯カメラ設置

問 通学路防犯カメラ設置助成事業費補助金の50万円の減額について、町はどこに防犯カメラを設置するという数年にわたる年度計画を持っているか。

答 この事業は県の補助金を活用している。自治会からの申請を町がとりまとめ県に申請し、県が認めた場所に町から自治会に補助金を出し、自治会が設置をしている。よって、町としての設置計画はない。

問 今回の補正にあたり補正財源の確保の観点と財政調整基金への積み増しのために決算見込みで減額できるものは減額するようにと各課に指示を出した結果である。

財政調整基金

問 財政調整基金費積立金が1億4,883万円になり、ここ数年の年度末の補正としては最も高い増額補正になっている。その理由は。

答 今回の補正にあたり補正財源の確保の観点と財政調整基金への積み増しのために決算見込みで減額できるものは減額するようにと各課に指示を出した結果である。

問 余ることが予想される予算を事業目的に即して知恵を絞り、町民サービスの向上を図るような風潮は作れないか。

答 年間を通して事業を達成していくために各課と連携しながら執行率はどうかなど、予算を有効に活用していくように財政管理課から働きかけをしていきたい。



北オアシスパーク付近の防犯カメラ

特別会計・企業会計予算

特別会計	7年度予算	対前年増減額
土地取得事業	1,522万円	20万円
国民健康保険事業	26億6,839万円	△ 1,424万円
後期高齢者医療保険事業	4億1,618万円	1,314万円
介護保険事業	23億2,416万円	1億1,959万円

企業会計	7年度予算	対前年増減額
水道事業	11億4,518万円	8,487万円
公共下水道事業	18億8,122万円	4億5,823万円

※ 企業会計の予算は収益的支出額と資本的支出額の合計

国民健康保険事業

国民健康保険税

問 国民健康保険税の医療給付費の現年課税分について、当初予算では4年度から7年度まで減額となっている。これは被保険者の減少が主な原因か。

答 被保険者の減少が主な原因と考えている。

国民健康保険被保険者

問 被保険者は元年度から5年度までで615人、率としては約10%減少している。それに対して吉田町の人口はこの5年間で2.4%の減少である。被保険者の減少が大きい理由は。

答 被保険者の減少が人口の減少比率より大きい理由は年々後期高齢者医療保険への移行者が増えていることと考えている。ただ、加入・離脱の要因として最も多いのは社会保険への加入・離脱である。

国民健康保険事業納付金

静岡県は保険税(料)

問 静岡県の保険税(料)の統一を目指しているが、その第一歩として納付金算定基準の統一を12年度までに目指すとしている。どう変わるのか。

答 納付金は年齢補正した医療指数や所得指数などを基に算定しているが、そのうち医療費指数を基準から外す計画である。

介護保険事業

介護給付金

問 施設介護サービス給付金が539万円、地域密着型介護サービス給付金が334万円の増額となっているが理由は。

答 6年度から8年度までの第9期介護保険事業計画に基づき、年々増加が見込まれている給付費の推定見込みを予算化している。高齢者人口の増加が大きな要因となっている。なかでも地域密着型介護

水道事業

有収率向上

問 有収率を上げるために古い配管の敷設替え工事が進められているが、それ以外にも有収率を上げる対策はあるか。

答 Aーとビックデータを活用した水道管の劣化リスクの予測診断を行う予定である。水道管の敷設年度、管の種類などのデータと人口、土壌、傾斜、交通網などの環境ビック

サービス給付費や特別養護老人ホームなどの施設介護サービス給付費はその比率の高さから給付費の大きな増額が見込まれている。介護保険法改正により、長期的な介護・医療を併せ持つ高齢者を対象とした介護医療院への転換が進んできていて施設介護サービス給付費増の大きな要因となっている。

公共下水道事業

下水道管布設単価

問 川尻南部汚水幹線工事と片岡1号線汚水幹線工事においてメーター単価に違いがあるが、この差は何か。

答 汚水管工事では場所によって埋設する深さに違いが生じる。深さが違うと単価も変わってくる。

データをAーに学習させて将来の破損確率を算出させて劣化リスクを見える化して老朽管の更新計画に反映させていく。

討論（公共下水道事業）

反対討論

山内均議員
7年度公共下水道事業会計予算は、管渠建設改良費および処理場建設改良費合計7億8,932万円。このうち4億5,788万4千円は、一般会計の補助金および負担金の合計となる。また、債務負担行為による浄化センター設備更新工事は10億4,564万円を含む11億2,222万4千円である。国の補助金は5億9,456万1千円。一般会計の補助金および負担金と企業債（町の借金）の合計5億2,766万3千円は町民が払う。下水道使用料予算1億3,068万1千円とは比較にならない。下水道区域外の人にとって納得できるものではない。

賛成討論

蒔田昌代議員
業務の予定量、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出、債務負担行為、企業債、一時借入金、予定支出の各項の経費の金額の流用、議会の議決を経なければ流用することのできない経費、他会計からの補助金について資料の提出により、説明を受けた。
議会において慎重に審議、議論した結果、公共下水道事業の計画に沿って今年度も進めていくことを確認できた。計画を強力に進めていただきたい。

第24号議案	大石 裕之	盛 純一郎	楠元由美子	福世 義己	三輪美由紀	平野 積	山内 均	増田 剛士	八木 栄	河原崎昇司	蒔田 昌代	大石 巖
○：賛成 ●：反対 一：欠席	○	一	○	○	○	○	●	○	○	○	○	*

賛成多数で可決

※ 法令の定めにより議長に表決権はない。

令和6年度吉田町一般会計補正予算(第7号)

歳出歳入にそれぞれ4億6,490万円を追加し、総額150億2,333万円とする。

【主な補正】

歳入	国庫支出金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）	7,478万円
	寄附金	
	一般寄附金	△ 2億3,600万円
	指定寄附金	2億9,600万円
	繰入金（財政調整基金繰入金）	2億7,562万円
歳出	物価高騰生活支援臨時給付事業費	7,054万円
	大幡川改修事業費	5,140万円
	ふるさとよしだ寄附金基金積立金	2億9,600万円

第1回臨時会

令和7年1月31日

ふるさと納税

問 今回の補正で寄附額

中一般寄附金の比率が40%となる。一般寄附金は当該年度中の財源として使うことができ、それを減額するために財政調整基金から多額の繰入金を出すことになった。一般寄附金の比率は元年度の75%から年々減少し5年度では55%まで落ちていた。その中で6年度当初予算での比率を60%とした理由は。

答 例年の平均値として60%とした。

財政調整基金

問 一昨年度まで20億円

貯めることを目標にこの基金の繰入を抑えてきた。しかし、今年度は使う方向で進めている。方針変更したのか。

答 先ほどのふるさと納

税の関係や人件費、物価の高騰などのために使わざるをえない状況になっており、方針変更したわけではない。

question

問

地域内消費向上の取り組みは

answer

答

商工会のプレミアム付商品券事業を支援

第6次吉田町総合計画第3章「活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり」を基に町内産業の課題解決に向けた方向性や目指す施策について質問した。

問

「新たな賑わい拠点の整備」として東名吉田インターチェンジ周辺の交通結節点整備がある。

賑わい創出のエリア整備は、何を整備するのか。

答

エリアの整備計画については、特急バス静岡相良線をはじめ路線バスや空港バスの乗降レーンを設け、待合所やトイレ、歩行者の同線にはアーケードを設置し安全で快適な環境を整備していく。
賑わい創出における空間づくりとして、イ

ベントなどに利用できるオープンスペースも整備していく。

問

水産業分野において、しらす漁の漁獲量不安定、漁業者の後継者不足の課題について、町の考えは。

答

しらす漁の漁獲量は、吉田漁港において10年前と比較して約4分の1にまで減少している。

漁獲量の不安定さが漁業者の収入の不安定さにつながっていくことから、水産庁から「海業の推進に取り組

む地区」に選定され、先行的な取組事例など情報収集を進めている。

後継者不足については、広域的な求人活動の実施の働きかけを行い、新たな漁業就業者確保の支援をしていく。

問

大型店舗の進出や後継者不足が既存商店の課題である。町の考えは。

答

小規模事業者が自身の力で環境変化に対応し、持続的な事業活動を実現するよう、商工会と共同して「経営発達支援計画」を策定し

た。この計画実行により、自らの強みを生かした事業展開が根付き、既存商店の活性化につながることを期待している。

後継者問題は、吉田町合同企業説明会を積極的に活用していただき就業につなげ、後継者となるよう育成し問題解決につなげばと考える。

問

消費マインドを地元産品へ向かせる施策は。

答

小山城売店、イベントでのPR。商工会が行う第7弾プレミアム付商品券事業など支援していく。



吉田インターチェンジ周辺バスターミナル整備 構想イメージパース



議員 増田 剛 士

question

問

学調の成績が県平均を上回れない理由は

answer

答

特定は難しいが、読解力不足が課題

町長の施政方針は、7年度の主な施策の方向性を示すものであることから、本文テーマ以外にも、県営吉田公園南側用地の整備、キャッシュレス決済の推進、TCPトリビンスプランなどについてより掘り下げるために質問した。

住吉海岸防潮堤の整備

問 吉田漁港側は海側に盛り土、坂口谷川側は陸側への盛り土(下図)および12年度末完成は確定か。

答 その通り。

問 海側に盛り土をした場合、波がぶつかり浸食されることが予想される。その対策は。

答 波対策として護岸の整備を検討していく。

多目的広場の整備

問 現状で完成とのことであるが、以前は水産

物関連の売店などを整備することになった。今後の進め方は。

答 吉田公園南側用地の整備のための県と町、民間事業者が連携して行う官民連携事業に含む形で多目的広場西側の整備を進める。

問 多目的広場は強風が吹く。車のドアを開けた時、急激にドアが開き隣の車を傷つける可能性が今の駐車間隔ではあると考える。個人の問題とはとらえず、町として対策すべき。

答 公共交通の利便性向上と共にバスターミナル西側を「住宅ゾーン」、幹線道路を「沿道商業誘導ゾーン」と位置付け、賑わいの一端を担う土地利用を図る。

答 駐車間幅は一定のルールに基づいて設定している。しかし、そのような懸念があるなら多面的に検討する。

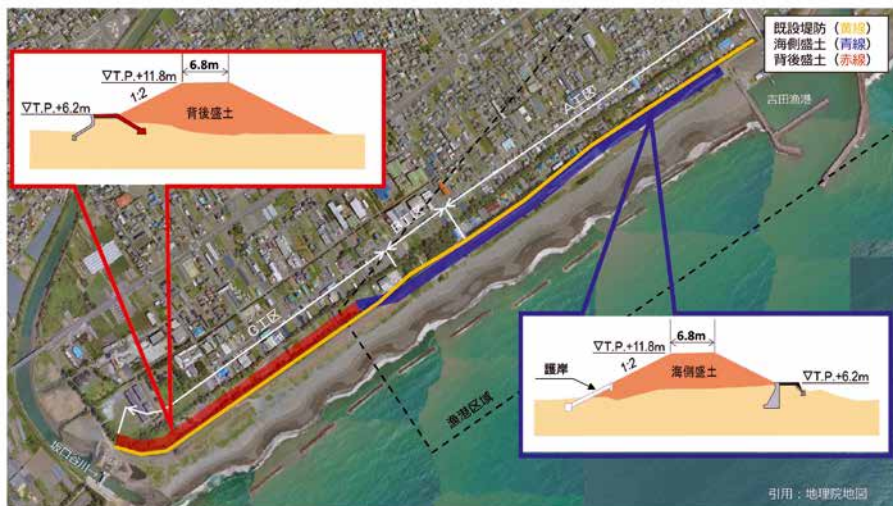
吉田インターチェンジ周辺の整備

問 この整備でどのようなのか。

答 公共交通の利便性向上と共にバスターミナル西側を「住宅ゾーン」、幹線道路を「沿道商業誘導ゾーン」と位置付け、賑わいの一端を担う土地利用を図る。

防潮堤住吉工区イメージ

- 住吉工区のうち、背後に家屋が連担する東側(吉田漁港側)は既設堤防の海側に堤防を設置し、家屋がほばない西側(坂口谷川側)は既設堤防の背後に堤防を設置します。



※学調とは、国が行う全国学力・学習調査で吉田町はその成績が県平均以上を目標とする。



ひらの 野 積 議員

町政を問う

question

問

神戸川の水災害・被災者への支援は

answer

答

他の専門機関や窓口に橋渡しをする

地球温暖化の影響と思われる大雨を神戸川でも、資料の通り記録がある。2年の質問では、住宅への水災害について聞いた。今回は、工場の廃止や操業の困難による移転、工場の設備などの大改修などに何らかの支援はあるか質問した。

問 水災害のため、工場の廃止や操業の困難による移転、工場の設備などの大改修などに何らかの支援はあるのか。

答 これまで本町において発生した災害の規模からは、支援に該当しないものと考えている。町では、被災者の皆さまから、困り事や心配事について相談を受け付けるとともに、必要に応じて他の専門機関や窓口へ橋渡しをするなど、相談支援業務を行う。

問 降水シミュレーションの被害検証などについて、検証とか検証結果の成果および過程は公表するとしているが、公表の予定は。

答 流域治水対策実施後のシミュレーション結果を盛り込んですでに公表しており、今後この計画に関する問い合わせがあった際には丁寧に説明していく。

問 5年7月27日の神戸地区の説明会では水災害や被災者に関する言及がなかった。また、

被災した工場の代表者などに話を伺い、被害は非常に深刻であることを確認したし、調査されていないことも確認した。改めて被害状況を調査すべきであると思うが。調査はするか。

答 過去災害があった時に話を聞かせていただいたことはあるが、現時点において、要望に対応し検討する。

問 神戸川の冠水の解消は直接排水することであり、住民を災害から

守ることである。直接用水に流すための水路を整備することはできないか。

答

湯日川流域の神戸川の水を坂口谷川流域の用水に流すための水路を整備する場合には、流域変更が必要になるとともに坂口谷川流域において新たな被害の可能性が危惧されることとが考えられる。流域変更となる場合には、河川管理者である静岡県との協議が必要となる。実現は困難と考えるので流域変更が必要となる整備は考えていない。

年月日	洪水名	吉田町全域 浸水家屋(戸)			湯日川流域 浸水家屋(戸)			1時間雨量		2時間雨量	
		計	床上	床下	計	床上	床下	雨量 (mm)	確率	雨量 (mm)	確率
平成16年10月9日	台風22号	46	0	46	17	0	17	60	1/10	105	1/15
平成16年11月11日	豪雨	4	0	4	4	0	4	79	1/50	114	1/20
平成25年4月6日	豪雨	57	5	52	34	1	33	83	1/70	145	1/80
平成26年10月5～6日	台風26号	0	0	0	0	0	0	39	1/2	70	1/3
令和元年10月12日	台風19号	77	4	73	25	2	23	35	1/2	64.5	1/2
令和3年7月29日	豪雨	0	0	0	0	0	0	82	1/60	137	1/60
令和4年9月23日	台風15号	8	0	8	6	0	6	96	1/100	143	1/80

過去の水害実績 湯日川水系



やま うち ひとし 議員
山 内 均

question

問

現在の地域活動に町が感じることとは

answer

答

積極的・自発的状态への支援が必要

コロナ禍による地域活動の自粛から町民同士のコミュニケーションの場が薄くなった。男女問わず町民の魅力的な知識やアイデアを掘り起こす行政側からの仕掛けづくりについて質問した。

問

既存の活動団体を継続的にするため、新たな活動団体の育成、活動意識の高い住民を育成するために町が行うサポートは。

答

更なる活性化を図るため、10年目となる自治会振興費補助金を見直し①女性役員登用②自治会活動の活性化事業③自治会の加入促進事業に対して補助する制度へ変更する。一方、社会教育の観点からは、地域教育推進協議会や国際交流協会などの社会教育団体が、

互いに連携し協働していくことを目的とする

「吉田町社会教育プラットフォームつながろうよしだ」を開催し、町内社会教育関係団体の相互連携促進を図っている。

新たに地域活動にかかわりたい方々は気兼ねなく町(企画課)へ相談をしていただきたい。

問

「吉田町社会教育プラットフォームつながろうよしだ」への参加者は170人(子ども98人・大人72人)だった

結果をどう考えるか。

答

課題(開催時期、周知方法など)があるが、開催できたことは良かった。前回の課題や改善点を引き続き協議を重ねる。

問

団体の活動状況を紙面やHPなどを利用して町が主体となった情報発信が必要と考えるが。

答

町の支援を利用した団体であれば把握できる範囲で、各課のHPで紹介することは周知を含め今後検討したい。

町への要望

ボランティア通信または、HPでのボランティア掲示板を作り活動団体の情報発信を行うことで町内の方や町外・県外で活躍される学生などが活動団体へ参加しやすくなるような新たな取り組みをお願いしたい。



6年7月開催夏季例大祭(八幡津島神社)



くすもと ゆ み こ 議員
楠元由美子

町政を問う

question

問

7年度から策定する立地適正化計画とは

answer

答

居住誘導区域、都市機能誘導区域を設定

新年度に向けた施政方針ならびに過去最高額の149億4、900万円の予算案が7年第一回定例会に提出された。これからの吉田町の方向性を示す大変重要な意味を持つものとなる。そこで町長の施政方針の各施策について質問した。

立地適正化計画

問 町の都市づくりを進めるに当たり、その課題解決を図るために、

7年度から9年度までの3力年をかけ「立地適正化計画」を策定していくとのこと。この計画の概要は。

答 新たなまちづくりに

おいて、医療・福祉施設、商業施設や住居がまとまって立地し、住民が公共交通によりこれらの生活利便施設にアクセスできるなど、福祉や交通も含めて都市全体の構造を見直

す、「コンパクト・プ

ラス・ネットワーク」の考え方を進めるため、国でこの制度が創設された。

人口、土地利用、交通の現状、将来の見通しを勘案し居住を誘導して、人口密度を一定以上に維持する居住誘導区域と、都市機能の誘導を図る都市機能誘導区域を設定し、公共施設だけでなく、住宅や民間の生活サービス施設も対象に誘導を図り、持続可能なまちづくりのための計画を策

定する。



公共施設オンライン予約システム

問 公共施設予約システムを導入し、オンラインで総合体育館、中学校の体育館やグラウンド、中央公民館などの予約を可能にし、ク

レジット決済が可能となる。鍵も貸出・返却の必要がない電子キー

の導入を進める方針であるが、今後の進め方は。

答 公共施設予約システムは、スマートフォン

などから、24時間365日いつでも空き状況の確認や予約がオンラインでできるもので、町内公共施設16カ所を対象に整備する。来年3月から運用できるように関係者と協議し、システムを構築していく。

また、システム運用開始前には、町民や施設利用者に広く周知を図り、操作説明会を開催していく予定。

住吉海岸防潮堤工事

問 住吉海岸防潮堤の盛り土工事が7年度から

答 これから、工事発注

に向けた準備に取り掛かり、早期に着手できるよう進める。今後、施工計画を立案する中で、地元関係者と調整を行い、できる限り工事現場周辺や運搬経路沿線の皆さまに負担とならない安全な設定を行い、工事着手前には地元の皆さまにご説明する。



議員 ゆき ひろ いし おお 大石 裕之

産業建設常任委員会報告

調査事項

空き家等対策の推進について

調査目的

住民の生活環境の支障となる空き家等に対し、適切な管理や利用について調査・研究する。

調査期間・過程

5年6月5日から7年3月14日まで28回調査した。

・5年6月15日
調査のテーマ決定

・5年5月29日
富士市視察

・6年7月9日
掛川市視察

・6年12月20日
藤枝市視察

・7年2月6日
袋井市視察

・7年3月14日
最終報告策定

視察先と内容

富士市

平成29年・空き家対策協議会設立・空き家バンク制度制定

掛川市

平成26年・掛川市空き家等の適正管理に関する条例制定・NPO法人かけがわランド・バンクに業務委託

藤枝市

平成29年・空き家対策室設置・空き家ゼロにサポーター制度導入

袋井市

平成30年・袋井市空き家等対策計画策定・2年ふくろいすまいの相談センターオープン

委員会の意見

視察した全ての市では、担当職員3人から7人体制でスピード感をもって、組織的に積極的に知恵を出し合い活動していた。

空き家の数を減少させ成果を出している対策に共通していることは民間の力をうまく活用していることである。

委員長 山内 均

総務常任委員会報告

調査事項

重層的支援体制について

6年6月定例会において上記の調査事項について調査することを決定した。担当課から調査項目の説明を聴取、また、必要に応じて書類、資料などの提出を要求し、調査してきた。そうした調査の結果から、報告書を作成した。【まとめ】を抜粋して報告する。

【まとめ】

国の重層的支援体制整備事業の一つである「相談支援」については努力が伺えるが、「参加支援」には担当部署との連携や体制整備が不十分である。

体制整備には、庁内関係部署を二元的に統括する役割のもとに関係機関・団体（社会福祉協議会・民生委員児童委員など）との調整機能が欠かせない。合わせて、より効率的運営のために関係機関・団体の担当者による情報共有と意識改革を

行う必要がある。

重層的支援体制の構築は、他市町の事例を参考に、当該市の状況にあったものにしていくことが必要だと考える。既存の組織、制度を活用し、早期に重層的支援体制が構築されることが望まれる。

副委員長 蒔田 昌代

所管事務調査報告書はこちらのQRコードからご覧いただけます。



総務文教常任委員会



産業建設常任委員会



令和6年度 議会改革の目標評価結果

目標	取組目標	評価	評価理由
町民意見の反映	多様で幅広い層の町民意見を議会活動に反映できるよう、広聴や意見聴取の新たな方法を検討し、実施する。	△	・議会報告会で子育て世代など幅広い町民の参加を期待した意見交換のテーマを設定したが、参加者の年代の広がりには少なかった。しかし、議会報告会で出た多くの意見を当局に報告するとともに、一般質問にも活用し、町民意見の町政への反映の一助とした。 ・広聴や意見聴取の新たな方法の検討は行ったが、実施には至らなかった。
ICT 活用の推進	ICTを活用した議会活動を議論、推進する。	○	・議会DX推進特別委員会を設置し、以下を実施した。 ① 一般質問通告書のメール送信を提案し、議会の承認を得た。 ② 議員のICTスキル等を調査するための「議会DX化に関するアンケート」を実施した。 ③ 「議会DX化」の研修を受けた。
議員定数の改正	吉田町議会に適した議員定数について協議する。	○	・吉田町議会議員定数等検討特別委員会を設置し、以下を実施した。 ① 全国の町議会における議員定数と人口、人口密度や財政力などとの関係を調査し、議論を進めた。 ② 議員のなり手不足対策について議論した。 ③ 議員定数を削減した川根本町を視察し、議員定数変更に関する活動や削減の判断理由を確認した。

評価基準は『設定以上にできた ⇒ ◎、設定どおりにできた ⇒ ○、設定には足りなかった ⇒ △、出来なかった ⇒ ×』



議会活動報告は少部数ですが、各自治会館に置いています。また、左に記載のQRコードから閲覧できますので、是非ご覧ください。

- 令和6年議会活動報告書を作成
- 議会は6年の議会活動についての報告書を以下の内容で作成しました。
- 1 議会改革の目標
 - 2 吉田町議会の仕組み
 - 3 議会報告会
 - 4 吉田町議会活動状況
- (参考) 議会の傍聴に行ってみよう！

議員発議

発議案第1号

吉田町議会の個人情報保護に関する条例の改正

発議案第2号

吉田町議会議員の請負の公表に関する条例の制定

「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律」が6年6月7日に公布された。

4年12月10日に成立した地方自治法の一部を改正する法律により、議会の議員に係る請負に関する規制の明確化及び緩和がなされ、300万円までの議員個人による町との請負は規制の対象から除かれることとなった。

この法律改正により、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に条項ずれが生じるため、「吉田町議会の個人情報保護に関する条例」の必要な改正を行うとともに、併せて所要の規定の整備のための改正を行った。

このことを受け、議会では、請負の透明性を確保し、もって議会運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、「吉田町議会議員の請負の状況の公表に関する条例」を制定した。

第2回定例会（6月）のご案内

令和7年第2回吉田町議会定例会は6月2日（月）から開催予定です。

傍聴はどなたでもできます。当日に4階議会事務局にて受付を済ましてから5階傍聴席にご入場ください。お待ちしております。

問い合わせ先

議会事務局

33-2141



傍聴の仕方は
こちらへ

まちの話題



1月12日（日） 学習ホール
吉田町はたちの集い



1月19日（日） 吉田町内
吉田町駅伝大会



1月13日（月） 川尻会館
お正月だよ！かわしりっ子まつり



3月22日（土） 県営吉田公園
2025チューリップまつり



3月29日（土） 能満寺山公園（芝生広場）
お花見茶会

議会広報特別委員会

委員長 楠元由美子

副委員長 平野 積

委員 大石 裕之

福世 義己

三輪美由紀

増田 剛士

※本紙に記載している数値につきましては、一部千円以下を切り捨てして万円単位で表記しています。